

《めざす子ども像》
自分の思いが言える子
相手の気持ちがわかる子
いろいろなことに挑戦する子

劇団らくりん座

「あらしのよるに」演劇鑑賞

12月8日(火)学校巡回公演による演劇を鑑賞しました。文化庁の「学校巡回公演」は全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子ども達の豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的としています。

「あらしのよるに」では、「友情とは？真の信頼とは何か？」を強く問いかけてくれました。閉会行事でも述べましたが、私たちは日々、様々な個性や考え方をもった友達と共に過ごしています。時として、意見がぶつかったり、相手のことが理解できないと感じたりすることもあるかもしれません。しかし、主人公ガブやメイのように「違い」を恐れず、相手の心とまっすぐに向き合う勇氣を持つことが大切です。そして、お互いを信頼し合うことこそがかけがえのない絆となります。

子ども達は、生の演技の迫力により、お話の世界に引き込まれていました。また、5年生は、オオカミ役やヤギ役として、6年生はコーラス隊として、出演し、劇をさらに盛り上げました。この体験も子ども達にとって忘れられない思い出となったことと思います。

「人を楽しませる」「みんなの前で表現する面白さ」を味わえる演者、それを支える照明や舞台担当などいろいろな立場で一つのものを作り上げる仕事の素晴らしさも上級生には感じてもらえたら嬉しいです。



3年 みおりさん

げきを見せてくれてありがとうございました。
わたしは、げきを見てガブとメイは、ヤギとオオカミのひみつの友達だとわかりました。
ほかのともだちのヤギやオオカミのオオカミの役のみなさんもうすぐでもこれからもげきをっづけてがんばってください。

前の劇の時は遠い所からありがとうございました。ぼくは、この劇を見たりやってみたりして、劇をやるのは大変だけど、とてもやりがいがあると分かりました。もし次、いっしょにやる時があったら、完璧というくらいにやりたいです。本当にありがとうございました。

5年 けんごさん



わたしは「あらしの夜に」を見て一番おもしろかったのは、最後「人のかぶ」とメイがふぶきの中を走るとき、自分を守りを守るためにゆうきを出してたたかっているのをみてすごいなと思ったし自分らあとほくらべものにならないくらいに迫力があったし声もあんなに大きい声もだせていて本当にすごいなと思いました。私は、かぶみたいなオオカミがいたらいいなと思いました。これからもしかしたら見えなくなるかもしれないから今日「あらしの夜に」を見ておぼえています。オオカミは、もしかしたらオオカミとヤギも本当に友達になれるかもしれない人だなと思うわんわんかみもあいてきて友しようについて考えることができていいなと思いました。

4年 しのさん

劇団の皆さんへ

12月8日は劇「あらしの夜に」ひみつのともだちを見えにきてくださり、ありがとうございました。

私は初めて、「あらしの夜に」を見て、すごくおもしろかったです。らくりん座のみなさんの劇を見て、泣く所や笑う所の表現の仕方がとても好きだなと思いました。たおれたりする場面では本当にたおれた時みたいなたおれていてすごいなと思いました。「未来を想う歌」では、自分たちと比べて人数も少ないのに自分たちよりもはか力があって、すごいなと思いました。

12月8日は、劇「あらしの夜に」ひみつのともだちを見えにきていただきありがとうございました。

6年 ももかさん

月曜日は、劇をしたり、させてくれたりしてありがとうございました。

ぼくは、劇をする前や劇をしていると中でおおそれているのかな、ちゃんと言えるかな、と思っていました。そして劇をしていると中でみんなてへいと言わなければならぬ戸所を1人か2人しかのりお流なので少しうれしかったです。劇ををしていると中の人なことも思いました。

劇団の方々はいつもこんな大変なことをしている人々がいて、本当にありがとうございました。



5年 ももきさん